

アグロイノベーション研究高度人材養成 シンポジウム

～インターンシップの実施による持続的な博士人材の輩出～

参加費
無料

日時 平成24年 **12月5日** (水) 13:30～17:30

場所 中央合同庁舎第4号館9F

プログラム

基調講演 木村 俊昭 氏
「地域活性と求められる高度研究人財」

パネルディスカッション

事前
登録制

①氏名 ②所属 ③電話番号 ④メールアドレスを記載の上、11/28 (水) までに
agro-s@cc.tuat.ac.jpへお申込み下さい。

主催・問合せ：東京農工大学 アグロイノベーション高度人材養成センター

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

TEL 042-367-5618 E-mail agro-s@cc.tuat.ac.jp

HP <http://www.tuat.ac.jp/~agroc/>



高度に専門性を高めた人材は、当該分野における先端科学の先導的推進を担う上で大きな役割を果たすことが期待されるものの、社会的に大きなインパクトを与えるイノベーションの創出を担うためには、先端的、独創的研究推進能力だけでは不十分です。特に、農学が包括する領域は、深刻な食糧、水資源、エネルギーの不足、化石燃料の枯渇と地球温暖化、食の安全・安心の確保、微生物などに由来する新しい医薬品の探索や製造技術の構築等の分野に及び、現実社会の諸問題やニーズを通しての、新たな発想と実現力が必要とされます。

その実現をめざし、東京農工大学では平成20年度から5年間にわたり、アグロイノベーション研究高度人材養成事業を実施してまいりました。本事業は単なる博士号取得者を対象にした就職支援ではなく、大学院教育カリキュラムの改革や実社会でのインターンシップの実施等により、持続的に実社会へ博士人材を輩出していくことを目的としています。このため、地域や産業界で博士人材が活躍するために必要なことについて、本シンポジウムにおいて、関係者の皆様からご意見をいただき、本事業の成果をさらに高めていきたいと思っております。



～プログラム～

◆基調講演

「地域活性と求められる高度研究人財」

木村 俊昭

1960年北海道生まれ。1984年小樽市入庁。産業振興課長、企画政策室主幹(プロジェクト担当)、産業港湾部副参事(次長職)。2006年から内閣官房・内閣府企画官(地域活性化担当)として地域再生策の策定、地域再生制度の事前・事後評価、全国大学での地域活性化システム論講座の開講、政府広報活動のほか、地域再生に関する調査研究を担当。2009年から農林水産省大臣官房企画官として、地域の担い手の育成、地域ビジネスの創出、地域と大学との連携、農商工連携、6次産業化などを担当。現在は、内閣官房 地域活性化伝道師、東京農業大学教授、地域活性化学会理事(広報交流委員長)等として全国各地で講演・現地アドバイスを実施中。公益社団法人日本青年会議所アドバイザー兼地域プロデューサー育成塾塾長、スーパー公務員塾塾長も務める。著書には『「できない」を「できる!」に変える』、『自分たちの力でできる「まちおこし」』(実務教育出版)ほか。



◆パネルディスカッション

○木村 俊昭

○佐藤 弘毅

○渡部 靖夫

○高橋 修一郎

○榎本 裕介

○西河 淳

文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課人材政策企画官

農林水産省 農林水産政策研究所 次長

株式会社リバネス 代表取締役COO

元アグロイノベーション研究員 (広尾学園 中学校・高等学校 勤務)

東京農工大学 教授 アグロイノベーション高度人材養成センター長



会場：東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎第4号館
農林水産政策研究所セミナー室（9階）

(正面玄関『西門』から入り、受付で身分証明書(免許証、社員証など)を提示して、ご入館ください。)

○虎ノ門駅6番出口より徒歩5分

(東京メトロ銀座線)

○国会議事堂前駅4番出口より徒歩5分

(東京メトロ丸ノ内線・千代田線)

○霞ヶ関駅A13番出口より徒歩5分

(東京メトロ丸ノ内線・千代田線・日比谷線)